

# 北陵 タイムズ

北諫早中学校だより No.2  
令和5年4月18日  
文責 校長 小川 太洋  
<http://www.kitaisahaya@isahaya-snet.ed.jp>

感動と友情が芽生える  
楽しい学校

## 歓迎遠足&部活動紹介

生徒会企画のもと 楽しい  
ひと時を過ごしました

当初の計画では、1・2時間目に部活動紹介を体育館で行った後、歓迎遠足として中央ふれあい広場まで行く予定でした。しかし、あいにく午後から雨の予報だったため、日程を入れ替えて、午前中に本校グラウンドにて歓迎遠足、午後から体育館にて部活動紹介としました。

まず、グラウンドで「縦割りブロック」になり、3年生を中心とした団長、副団長等の紹介です。これから体育大会に向けて、ブロックでの活動が始まりますので、そのスタートとともいえます。1年生にしてみると、小学校では下級生をリードしていた立場でしたので、新鮮な気持ちで参加していました。

一通りの紹介と結団式が終わった後、各ブロックでレクリエーションが始まりました。「ドッジビー」「ドッジボール」「じゃんけんゲーム」など趣向を凝らしたゲームを準備しており、各ブロックとも笑いと歓声に包まれていました。

予想よりも早く雨が降ってきたため、体育館に移動し、午後の日程を確認した後、学級の時間（昼食を含む）にしました。昼食時におやつを食べることも許可していましたが、誰もがルールの範囲内での食べ方となっていました。

午後からは「部活動紹介」を行いました。各部とも、実演をしたり、パワーポイントを使用して説明したりして、競技（活動）の魅力や面白さを伝え、1年生に入部を呼びかけていました。ユニークな踊りを披露する部もあり、会場は笑顔で包まれていました。最後に1年生を代表して黒田琉香さんが「会を催してくれたことへの感謝の気持ちと、一日も早く中学校生活に慣れたい」という決意を述べました。

1年生は異なる小学校からの入学、2・3年生はクラス替えにより新たな友人関係を構築する時期ですが、この1日をおして、新たな友達と新しい担任の先生が一つになり、楽しい学級を作るんだという気持ちが伝わってきました。いつまでも今日のように、楽しく過ごせる学級であってほしいと願う次第です。



盛りあがった「じゃんけんゲーム」

## 新学期以降の学校におけるマスク着用について

5月8日以降、コロナがインフルと同じ5類に移行するに伴い、療養機関の変更等がマスクでも取り上げられていますが、今後の変更点につきましても分かり次第お知らせします。一方、「マスク着用の考え方」につきましては、文科省の通知に基づき、新学期から以下のように見直しておりますので確認の意味でお知らせいたします。

- 1 生徒及び教職員には、学校教育活動にあたって、マスクの着用を求めないことが基本となります。よってマスクの着脱については、個人の判断とします。
- 2 様々な事情によりマスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない生徒もいることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにします。また、生徒間でマスクの着用の有無による差別・偏見等がないように指導します。
- 3 学校教育活動の中で、調理実習や合唱等の「感染リスクが比較的高い学習活動」を実施する場合は、活動の場面に応じて一定の感染症対策を講じながら実施をします。また、教室の換気については引き続き徹底して行います。
- 4 咳やくしゃみの際には、咳エチケットを行うよう指導します。
- 5 給食時においては、引き続き給食前後の手洗いを徹底します。今後の「黙食」は必要ないのですが、机を向かい合わせにせず、大声での会話は控えるよう指導します。